

2013-2015

シユタイナー教育教員養成講座

第8期 募集要項

2次募集

2013年
11月開講

Waldorf Teacher Training Course

シュタイナー教育は、自らのうちにしっかりとした芯を持つ人間を育てる未来への教育として、多くの教育関係者や父母から関心を集めています。不安の多い現代、私たちひとりひとりが心から感じ、自ら考えることが欠かせません。

このシュタイナー教育教員養成講座では、次の3つを柱に2年で32日間のカリキュラムを組んでいます。

ルドルフ・シュタイナーが提唱した人間観・世界観の基礎 シュタイナー学校の教師による教授法等のセミナーや様々な芸術体験 シュタイナー教育を社会や家庭の中で実践するための基礎的な知識

全国にあるシュタイナー学校の教員を目指す方はもとより、土曜クラスや普通学校の教育現場など、この講座での学びは各方面での実践に活かされています。またそれぞれ受講者の方がシュタイナー教育のエッセンスをヒントに、活動を広げていらっしゃる。そのような方々がこの講座で出会い、新たな世界を切り開く力が生まれることも、この講座の目指すところです。

日 程

2013～15年 2年間で計32日間（4回／年 各3～7日間）

※注）宿泊施設はありません。宿泊は各自で手配して下さい。

初年度 ①2013年11月2日（土）～4日（月） 3日間

②2014年2月21日（金）～23日（日） 3日間

③2014年5月23日（金）～25日（日） 3日間

④2014年8月18日（月）～24日（日） 7日間

2年度 ①2014年11月1日（土）～3日（月） 3日間

②2015年2月6日（土）～8日（日） 3日間

③2015年5月15日（金）～17日（日） 3日間

④2015年8月17日（月）～23日（日） 7日間

※本講座は時間の制約上、海外の全日制の教員養成等に匹敵するものではなく、教育の基礎と本質を学ぶものです。修了時に上記の課程の修了を証明する修了証が、普遍アントロポソフィー協会教育部門（スイス・ドルナッハ）との連名で発行されます。修了に際しては、一定の出席数、レポートの提出が必要です。

場 所 アウディオパーデ研修センター（横浜市港北区綱島）

受講料 1年間30万円（分割あり）

※ オイリュトミーシューズ、リコーダー等教材費別途必要。

定 員 35名



講座の内容・1日の流れ

■ オイリュトミー

シュタイナー教育では“魂の体操”といわれるオイリュトミー。個人で、他者と、又はグループで動くことを通して心と体のあり方や、個と全体の関わりなどを体験します。

■ セミナー

シュタイナー教育の実践に向けての教授法とその背景にある考えを、現場に立つ教師たちから学びます。また、シュタイナー教育の中で、子ども達が体験するエポック授業・手仕事等を実際に体験し、教育芸術としてのシュタイナー教育を学んでいきます。

■ 聴く体験と観る体験

本講座の特色として、聴くこと、観ることを継続的に体験し、教師の自己教育としての基盤となる聴く力、観る力を育むことを目的のひとつとしています。響きの楽器の体験で感覚を磨き、水彩・フォルメン線描などを通して自らの感覚を広げます。

■ 主な講師

影島 清恵・鈴木一博・竹田 喜代子・増淵 智・柳澤 玲一郎・吉澤 明子、その他



■ 講義

シュタイナー教育の基本となるルドルフ・シュタイナーの人間観・世界観を、文献を通して講義形式で学びます。また、ディスカッションの時間を設け、積極的に疑問や質問、自らの思いを講座で共有し、机上の学びでなく自らのところが通う学びを目指します。シュタイナー教育の基本文献である「教育の基礎となる一般人間学」を講座終了後も受講者自身で読み深めていけることを二年間の目標とします。

1時限 (午前)	オイリュトミー
2時限 (午前)	講義 (2コマ)
—	昼休み
3時限 (午後)	観る体験
4時限 (午後)	セミナー
5時限 (午後)	聴く体験
—	振り返り/ディスカッション

応募

この要項に同封された応募用紙にご記入の上、下記運営会まで郵送にてご応募下さい。応募用紙は、WEBからもダウンロードできます。定員になり次第受付を終了いたします。

シュタイナー教育教員養成講座運営会

〒223-0052 横浜市港北区綱島東 3-5-50 コリエンテ綱島 1F

電話 03-6869-2196 FAX 03-6369-3898

Email kyouinousei@gmail.com

WEB <http://steiner-jp.net/>



受講者の声

子どもの成長について学んだことで、この学年の子どもにはこの学びが必要なのだとか、まだ少し早過ぎるとか、そういったことが判断できるようになった。今は(公立小学校で)3年生を担任しているが、授業の導入にお話をして、そこから算数の学習に入るなどしている。(E.N.さん・6期)

教員養成講座での2年間の学びは、これまで当然のように歩いたり考えたり感じたりして存在していた自分に、丁寧に目を向けて自分が自分に問うていく作業であり、時に痛みを伴うはじめての体験であった。自分と向き合うきっかけとなったのは、講座の大半をしめていた芸術体験である。この芸術体験を通し、自分の中にある様々な感覚を知ることができた。1つの大きな経験としては、自分の内側の静けさを感じられたことである。そのような状態を経験する前は想像すらしなかったと思うが、内の静けさを感じたことで、自分の内側は平面ではなくふくらみのあるものであると感じられるようになった。

(Y.N.さん・6期)

「我が事」としたときに、物事は はじめて私にとっての真実になる、ということ。「我が事」は、講座全体にわたって様々な角度、様々な言葉で語られてきた 大切なキーワードであると思う。講義の時は「我が事にするって大変な事だなあ……」と感じていたが、そのように外界を「我が事」としていくことが出来るのは、人間だけに許された自由であり、何と幸せな楽しい作業だろう。(T.K.さん・6期)

FAQ

Q: 受講条件はありますか?(年齢、教員免許の有無など)

A: 20歳以上の方が対象であり、教員免許の有無は問いません。

Q: 受講料に、教材費や宿泊費は含まれますか?

A: 含まれません。別途必要になります。

Q: 講座を欠席した場合、どのように補填できますか?

A: 次の第9期の中で補講していただけます。また、欠席した分の受講料の返金はいたしません。

Q: シュタイナー学校の教員は教職免許が必要ですか?また、この講座の修了で、シュタイナー学校の教員資格となりますか?

A: 学校法人のシュタイナー学校では、日本の教員免許が必要です。また、シュタイナー学校の教員応募の条件としてシュタイナー教員養成修了が求められます。本講座の修了生で現在シュタイナー学校で教えている皆さんは、実践力を身につけるために本講座とは別に各自実習にあたる場を求め、そののちに全日制のシュタイナー学校の教員として活躍されている方がほとんどです。

Q: この講座を終えたら、シュタイナー学校の教員として働けるのでしょうか?

A: 各学校の状況によりますが現実的には実際の公教育等での教師免許や経験などが必要な場合が多いと思われます。講座終了後、すぐに具体的な仕事に結び付くもの(資格等)とお考えにならない方がいいと思われます。

Q: 講座から、各学校への斡旋や紹介はありますか?

A: 特にありませんが、各地のシュタイナー学校や土曜クラスから教員募集がある時には、その都度受講生にお知らせしています。